

中四国ブロック島根県大会に参加して（2018年9月29日）

運悪く大型台風24号襲来の影響を受け、主催者側のご苦勞は察するに余りある大会でした。我々参加側も道中の安全を考え、一日目の懇親会終了後、直ちに帰還する事も考えたが、主催者の適切判断で研修会を中止された事、台風進行が遅れた事で、翌早朝に松江市の会場を発つ事となった。一泊しても、雨はともかく台風の影響を受ける前に帰り着けるとの判断で、結果も想定どおりで予定通りの帰宅となりました。帰着後しばらくして、島根県支部長より無事帰宅を確認する電話を頂き、主催者側の行き届いたご配慮に痛み入るものがありました。

このように台風に災いされた大会でしたが、講演や懇親会を含めて有意且つ盛大であり島根県支部関係者はきっと安堵な事でしょう。ご苦勞様でした。

大会成功の陰には悪天候にもかかわらず、学長はじめ同窓会本部役員、各県支部等、大会参加者の前向きな協力も大きかったと思います。会の勢いを示したもので、ブロック大会推進の大きなはずみ車になった事と思われます。写真は学長、会長はじめ本部役員と山口県支部参加者（4名）です。

ブロック大会の意義について私見を一言

我が山口県支部は、支部同窓会としての役割、機能を果たしてはいるが、活動が盛大であるかといえれば問題がある。この解決手段の一つとして、ブロック大会の活用が考えられる。出来るだけ多数で参加し、この場を支部の重要なアクティビティーとすることである。大会参加者への旅費等の補助金不足のため、山口県支部ではやむを得ず参加人数を4名程度に制限しているのが実情であるが、仮に8名程度参加すれば、活性化に有効な展開が想像できるのである。各支部も同様に対応すれば、学校、本部関係者を含め、毎年50名前後の盛大なブロック大会が、ブロック5県の主要都市のホテルで開催され、本学の名声を高める上でも良い影響があると思われる。2020年度は中四国ブロック大会は山口県支部の引き受け予定です、皆様のご協力を得て実りある大会にしたいと思います。

支部長 原田洋之

こうだいふとつばら あからがお みんなちがって みんないい みすず

